

児童発達支援自己評価 集計結果（事業所）

事業所名 江戸川区臨海育成室

公表年月日：令和7年2月14日

記入年月日：令和6年11月5日～11月29日

回答数 10名

回収率 100%

評価項目		はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか <工夫していると思う点> 活動内容やお子さんの様子に合わせてパーティションの活用や、使用する部屋を増やすなどして適切なスペースの確保や集中して活動に取り組めるように環境調整を行っています。 <改善が必要だと思われる点など> 怪我等につながらないように、予想されるお子さんの動きを事前に確認して椅子やテーブルの配置を行うなどの環境調整を、より丁寧に行っていきます。	100%	0%
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか <工夫していると思う点> 児童福祉法で定める基準の職員を配置しています。毎日の朝礼で活動内容やお子さんの発達状況等への配慮など、専門職員と共に職員配置数の確認を行い、体制を整えています。 <改善が必要だと思われる点など> 活動内容に応じて、保育士と専門職員（心理、PT、OT、ST）が連携し、適切な支援を継続していきます。	100%	0%
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、発達の特性に応じ情報伝達等の環境上の配慮が適切になされているか <工夫していると思う点> 各部屋の名前、玩具のかたづけ場所や約束事など、色分けやシンボル、写真等を使い、視覚からも理解できるような環境を整えています。 <改善が必要だと思われる点など> 視覚的にわかりやすい環境整備と共に、視覚刺激を軽減できるような環境調整や、個別に応じた対応を継続していきます。	100%	0%
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか <工夫していると思う点> 療育開始前、利用者の入れ替え時などの際に室内や玩具、教材、トイレ等の共用部の消毒、清掃を徹底して行っています。温度や湿度、十分な換気(CO2濃度測定器使用)の確認を行い、快適な生活空間づくりを心掛けています。 <改善が必要だと思われる点など> チェックリストを用いて確認や整理整頓を心掛け、安心安全で快適な環境整備に努めています。	100%	0%
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか		

評価項目		はい	いいえ
環境・体制整備	5	100%	0%
	<工夫していると思う点> 朝礼で個別の部屋の空き状況について確認をし必要に応じた使用や、集団療育室内の小部屋の活用をしています。 <改善が必要だと思われる点など> 想定される姿を職員間で確認して、必要に応じて適切な対応ができるように環境を整えていきます。		
業務改善	6	100%	0%
	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか <工夫していると思う点> 療育（日々、週、月、期、年）の単位毎や、行事や運営に関する全ての業務において、職員会議で目的やねらいを明確にして実施し、実施後に振り返りを行い、課題等を抽出して改善を図り、次回の目標へとつなげています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も全てのことにPDCAサイクルを意識して取り組み、様々な勤務形態の職員が共通認識が持てるように不参加者への会議録の回覧、説明、周知徹底に努めていきます。		
	7		
	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 毎年の保護者に向けた事業所評価及び三年毎の第三者評価の受審、面談や家族講演会等の感想にあがった意見など、保護者の思いや意向を把握する機会を設けています。意見や意向について全職員で内容を共有し、討議を行い改善に努めています。 <改善が必要だと思われる点など> 家族講演会や家族講座は保護者の意見を反映させて実施しています。今回いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、満足いただけている点はより質の向上に努めていきます。引き続きいただいた意見の原因と今後どのように改善できるかを検討し、出来ることから速やかに改善に努めます。	100%	0%
	8		
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 毎月の職員会議や朝礼や夕礼時に発信できる環境であり、意見を出し合い改善すべき点を皆で考え迅速に対応ができています。必要に応じて上司への報告や相談をする機会があります。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き職員の率直な意見を受け止め、事業所の業務改善に努めていきます。	100%	0%
	9		
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか <工夫していると思う点> 昨年度第三者評価を受審しました。評価、結果を全職員で共有し、改善点について検討を行い出来ることから速やかに取り組み、質の向上につなげられるように努めています。 <改善が必要だと思われる点など> 内容を全職員で共有し、共通理解のもと今後に向けた対応を一人ひとりが意識して取り組み、改善につなげていきます。	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
業務改善	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や育成室内等で研修を開催する機会が確保されているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 様々な研修の受講および毎月、OJTを行っています。育成室合同の公開療育や自室においては勉強会を定期的実施し、職員の専門性や支援の質の向上に努めています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 今後も受講した研修内容の報告書を回覧して、報告会を実施し、全ての職員で内容を共有して支援への活用につなげ、質の向上に努めていきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 育成室のホームページで公表や、「育成室のしおり」に記載してあり保護者に説明と共に配布しています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 支援プログラムに基づいた支援内容やそのねらいについてを、サービス提供記録を使用して保護者にわかりやすく伝え、共に確認をして支援を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 定期的な面談で保護者のニーズや子どものニーズ及び強みを確認しています。保育士、専門職員が連携を取り、それぞれの専門的な視点のアセスメントから、児童発達支援計画を作成しています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 子どもと保護者の希望を尊重して作成し、見直しを行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 直接支援者による会議を実施して子どもや家庭の状況の共有や、支援のポイントを確認するなど質の高い支援ができるように共通認識に向けた意見交換、計画の検討を丁寧に行っています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き集団療育と個別療育の子どもの姿の両面から一人ひとりの姿を十分に理解し、家族を含めたその子どもにとって必要な支援内容を検討していきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	100%	0%
		＜工夫していると思う点＞ 個別日誌に支援計画の内容を記載し、関わる職員が共通認識を持って児童発達支援計画に沿った支援を実施できるように、目標に対して支援内容が系統立てて実施できているかなどを確認しながら支援を行っています。		
		＜改善が必要だと思われる点など＞ 保護者にはサービス提供記録を用いて事前に活動のねらいや手立て等を伝え、フィードバックの際は支援計画に沿っていることが伝わるような具体的な説明を心掛けています。保護者の方と共通認識のもとすすめていけるよう努めていきます。		

評価項目			はい	いいえ
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 標準化されたアセスメントツール（新版K式、田中ビネー、WISC-IV、NCプログラム等）を使用して、定期的に発達評価を実施し支援プログラムに活かしています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 専門職員と保育士が連携し、一人ひとりに合わせたツールを使用してアセスメントを行い、ニーズと発達評価を踏まえて支援の内容に反映させていきます。		
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 児童発達支援ガイドラインで示された項目に沿って、子どもの発達、子どもや保護者の意向を反映させた達成目標と具体的な支援内容を設定しています。支援内容を保護者に説明し同意を得て支援を行い、一緒に支援の評価をして内容の見直し等を実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 保護者との面談時に支援内容の共有、確認をして共通理解が図れるよう、わかりやすい説明を心掛けて、日常生活や社会生活を円滑に営めるように共に考えていきます。		
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 集団の活動は年間、期、月案、週案、日案へと系統立てて計画をしています。プログラムの内容をクラス担任と専門職員が連携して立案しています。実施後の振り返りを行い、次の立案につなげています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も活動内容のねらいを明確にして、担任だけでなく関わる職員皆の意見やアイデアを反映させて、子どもの姿に合わせた楽しみながら取り組める内容の活動プログラムを立案していきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 子どもの興味や得意なこと、強み、発想を活動に取り入れ展開しています。継続した活動によってスモールステップで安心感や達成感を味わえるように目標、ねらいを変えながら取り組んでいます。		
		<改善が必要だと思われる点など> 興味関心や発達段階、ねらいを明確にして、今後も子どもたちが“楽しい”“やってみよう”と、主体的に活動に参加できるようなプログラムを考えていきます。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか		

評価項目		はい	いいえ
適切な支援の提供	19 <工夫していると思う点> 集団活動担当の保育士と、個別活動担当の専門職員がチームとなりケース会議の実施及び計画を作成し、一人ひとりの発達段階に応じた支援を行っています。 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き集団活動と個別活動の担当職員が連携を図り、お子さんにとってより良い支援を考えていきます。	100%	0%
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか <工夫していると思う点> 毎日のミーティングで具体的な活動の内容やすすめ方、対応方法、配慮すべき点等を細やかに確認をして、一貫性のある対応ができるように役割分担を明確にしています。職員間の信頼関係がより良い支援につながっていると思います。 <改善が必要だと思われる点など> ミーティングにおいて支援内容の確認、役割分担を明確にして支援の提供を行っています。また、参加できなかった職員への情報の共有、内容の周知徹底を図ります。	100%	0%
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか <工夫していると思う点> 毎日、療育後にフィードバックを行い、子どもの姿や保護者の様子を共有し、気づいた点、改善点、ヒヤリハット等の振り返りとともに次回に活かしていく内容について話し合い、日誌やクラスノート、個別経過記録等に記録しています。 <改善が必要だと思われる点など> フィードバックやミーティングに参加できなかった職員への内容の周知徹底を図り、情報を共有して共通理解のもと、次への支援につなげていきます。	100%	0%
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか <工夫していると思う点> 計画・実践・評価・改善の取り組みを定められた用紙に記録しています。直接支援者間で情報を共有して支援の検証や改善を行い、次への支援を計画しています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も支援の様子や手立て等をわかりやすく記録することを心掛け、支援の質の向上につなげていきます。	100%	0%
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか <工夫していると思う点> 定期的モニタリングの他に必要に応じて随時保護者からの相談を受けて面談を実施し、担任や専門職員で子どもの発達状況等を確認、支援内容や目標の評価、計画の見直しを行い、保護者には丁寧な説明を心がけて了承を得ています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も定期的な見直しの機会だけでなく、ニーズの変更等の希望があった際には速やかに対応していきます。また、計画の見直しはいつでもできることを保護者にお伝えし、お子さんの状況にあった支援計画を作成していきます。	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 子どもの状況がわかっている児童発達支援管理責任者、担任や個別療育担当職員が参画しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も状況を把握、理解している職員が参画できるよう体制を整えていきます。		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 健康サポートセンターや臨海病院、保育園等から育成室をご案内され療育につながったり、東部療育センター受診の際は保護者からの依頼を受けて連携を図っています。「就学支援」をテーマにして保護者向けに教育委員会の職員による講演会、説明会を実施しています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 地域の一員としての役割を果たすため、今後も各地域関係機関と連携を取り、必要な支援を適切に行っていきます。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 保護者からの依頼や必要に応じて、児童状況書、心理所見書の作成や、幼稚園、保育園、育成室連携記録を活用して各園と見学の受け入れや訪問等で連携し、情報共有を行い相互理解を深めています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も積極的に併用先との連携を図り、相互理解に努めた支援へつなげていきます。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 保護者からの依頼や必要に応じて、児童状況書や心理所見書、就学支援シートを作成し、情報の共有や相互理解が図れるようにしています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も必要に応じて情報を共有し、相互理解に努めた支援へつなげていきます。		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 発達支援センター主催の研修に参加する機会があります。		
		<改善が必要だと思われる点など> 必要に応じて連携を行い、情報共有を図ります。また研修の受講から支援の質や専門性の向上に努めていきます。		

評価項目			はい	いいえ
関係機関や保護者との連携	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 近隣の保育園の園庭開放や水遊びに出かけ、園児と関わって遊ぶ経験ができるよう年間の計画を立て実施しています。遊びの中での自然な交流を図っています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるようにしていきます。		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 集団及び個別療育の実施前に活動のねらいを保護者に伝え、実施後にはねらいとこどもの状況を含めた丁寧なフィードバックを行うことを心掛けています。こどもの状況と成長面などを共有し、共通理解のもとで次の支援へとつなげています。		
		<改善が必要だと思われる点など> こどもの成長を保護者と共感し喜び合えるよう、こどもの姿からの気づきを大切にしています。保護者の方が思いや意見を伝えやすい雰囲気をつくり、共通理解が深められるように努めています。		
保護者への説明責任等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修（講座・講演会等）の機会や情報提供等を行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> こどもの成長や発達の理解、子育て全般のテーマで、外部講師を招いて家族講演会を実施しています。保護者が参加しやすいように集団療育利用時に実施している、育成室専門職員による家族講座では、各クラスごとの保護者の意向を反映させて内容の充実を図っています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も保護者の方からの希望や悩みに合わせ、家庭でも取り組んでみようと思える内容を計画していきます。		
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 契約時に「重要事項説明書」や「育成室のしおり」などの書面を配布し、具体的でわかりやすい説明を心掛けています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 運営規程や重要事項説明書などは入り口壁面への掲示や、本棚に冊子を設置して保護者が自由に閲覧できる環境を整えています。		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 子どもに思いの聞き取りを行う、もしくは保護者に代弁してもらい意思の尊重を図るとともに、保護者の意向についても面談の中で丁寧に聞き取りを行っています。こどもの成長を共有しどのような目標設定が必要であるか確認をしながら作成しています。		

評価項目		はい	いいえ
保護者への説明責任等	33 <改善が必要だと思われる点など> 引き続き子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて計画を作成していきます。		
	34 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか <工夫していると思う点> 子どもの発達状況、意向、保護者の意向を事前に把握するための面談及びアセスメントを実施し、ガイドラインに基づいた支援項目で児童発達支援計画を作成しています。保護者に内容の説明を行い、同意を得て支援を開始しています。 <改善が必要だと思われる点など> 一つ一つの項目について保護者からの理解が得られるように丁寧に説明を行っていきます。また児童発達支援ガイドラインについては、ファイリングして保護者の方が自由に閲覧できるように本棚に設置しています。	100%	0%
	35 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか <工夫していると思う点> 定期的な面談とともに、お子さんの状況や保護者からの申し出を受け、相談に応じられるよう体制を整えています。内容に応じてクラス担任と専門職員が連携して助言や支援が実施できるようにしています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も面談や相談の際は個室を利用し、プライバシーが守られるよう配慮していきます。内容に応じて担任だけでなく心理職員も同席し丁寧に対応をしていきます。	100%	0%
	36 保護者交流会や保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか <工夫していると思う点> 保護者の親睦会、育成室を卒業した先輩保護者との交流会、集団療育のフィードバック後に保護者同士が情報交換できる時間を設けています。 <改善が必要だと思われる点など> 昨年度「きょうだい支援」をテーマに家族講演会を開催しましたが、きょうだい同士の交流する機会といった具体的なきょうだいへの支援については次年度に向けて検討し実施していきたいと思います。	100%	0%
	37 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか <工夫していると思う点> 苦情等の対応に関する体制を整備し、保護者には契約時の説明や掲示にてお知らせをしています。保護者対応・接遇マニュアルをもとに職員同士連携を取り、相手の思いに寄り添いながら迅速な対応を心がけています。 <改善が必要だと思われる点など> 内容に応じて担任だけでなく心理職員も同席するなど、保護者や子どもからの相談や申し入れについて、迅速かつ適切な対応がとれるように相談しやすい環境や体制を整えていきます。	100%	0%

評価項目		はい	いいえ
保護者への説明責任等	定期的にお便り等を発行することや、ＨＰや連絡システム等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか ＜工夫していると思う点＞ 保護者がタイムリーに情報を得られるように保護者連絡システム（すぐる）を活用して毎月の室だよりや行事予定、育成室支援係保健師による季節ごとのほけんだよりなどを発信しています。 ＜改善が必要だと思われる点など＞ 廊下壁面への掲示では情報があふれないように整理し、また注目ポイントとなる見出しをつけるなどして見やすいように工夫していきます。また必要に応じてフィードバックでも伝えていきます。	100%	0%
	個人情報の取扱いに十分留意しているか ＜工夫していると思う点＞ 毎年、年度当初に全職員へ説明し、鍵のかかる書庫への保管等、取り扱いの徹底を図っています。また、定期的にe－ラーニングを受講し、個人情報保護について全職員が意識を高くもてるよう学びを深めています。 ＜改善が必要だと思われる点など＞ 引き続き、個人情報、プライバシー保護に関する研修の受講やマニュアルの読み合わせを行い、職員の意識向上や徹底を図っていきます。また日ごろの声の大きさ等にも配慮していきます。	100%	0%
	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか ＜工夫していると思う点＞ 写真、絵カードやマークなどの視覚的な手がかり、サインやジェスチャーなど、意思の疎通や情報伝達など個々に応じたわかりやすく伝わりやすい方法を探り活用しています。 ＜改善が必要だと思われる点など＞ 今後も障がいだけでなく、外国籍等で主言語の違う子どもや保護者に対しても自動音声翻訳機等を活用して情報伝達や意思疎通が図れるよう配慮していきます。	100%	0%
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか ＜工夫していると思う点＞ 第三者委員の方を行事にお招きしたり、日中クラスでは近隣保育園の年長児が歌を聞かせに来てくれるなどの交流を図っています。 ＜改善が必要だと思われる点など＞ 江戸川区の施設として地域に知ってもらい、貢献できることを考えていきます。	100%	0%
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		

評価項目		はい	いいえ
非常時等の対応	42 <工夫していると思う点> 会議の中で全職員がマニュアルの確認、内容を把握しています。またファイリングし、いつでも閲覧、確認ができるようにしています。保護者には契約時にマニュアルの説明を行うとともに、自由に閲覧ができるように概要版をファイリングして保護者貸し出し用の本棚に設置しています。また、毎月様々な災害を想定し子どもや保護者とともに訓練を実施しています。職員は、感染症対応や不審者対応の訓練も行っています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も利用者の方に安心して利用していただけるようにマニュアルの説明と、周知の徹底を図っていきます。職員は防災研修の受講を通して意識を高め、対応能力の向上に努めていきます。	100%	0%
	43 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか <工夫していると思う点> 「臨海育成室業務継続計画」については事務室内の職員の目に留まる場所に設置して、いつでも確認ができるようにしています。非常災害訓練年間計画に基づき、地震、火災、水害等の様々な災害を想定した訓練を毎月実施しています。訓練時に防災頭巾の着用やおんぶの練習、非常持ち出し用リュック内の点検も行っています。 <改善が必要だと思われる点など> 今後も定期的に災害訓練を実施し、その際にあがった課題や問題点を職員で共有して改善に努め、万が一の災害発生時に慌てずに行動できるように備えていきます。	100%	0%
	44 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか <工夫していると思う点> 入室前の保護者との室長面談にて確認をしています。状況を聞き取り、所定の書面に記録して職員間で共有しています。健康状況の記載内容に変化があった際には担任に伝えてもらい、情報の更新を行っています。 <改善が必要だと思われる点など> 何か状況に変化があった際には速やかに保護者と情報共有をしていきます。	100%	0%
	45 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか <工夫していると思う点> 医師からの生活管理指導表をもとに保護者の方と面談を行い、指示書と食物アレルギー対応マニュアルに基づいた対応を行っています。 <改善が必要だと思われる点など> アレルギーについても状況に変化があった際には速やかに面談を行い、医師の指示書をもとに改めて対応の確認を行い、関わる職員全員に情報の共有ができるよう周知徹底を図っていきます。	100%	0%
	46 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか <工夫していると思う点> 職員と共に作成した安全計画に基づき、研修や訓練を実施しています。内容に応じて保護者への周知の時間も設けています。 <改善が必要だと思われる点など> 年度末には計画の見直しを行い、次年度に向けた計画を検討していきます。	100%	0%

評価項目			はい	いいえ
非常時等の対応	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 安全計画を室だよりや廊下壁面への掲示等での周知や、取り組みについてフィードバックで説明を行っています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 安全計画の内容についてより細かく室だより等でお知らせし、こどもの安全確保について家族の方と共通理解のもとすすめていきます。		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 事例が発生した際は毎日のミーティングで報告し合い、その後SHELモデルを活用して記録し分析、検討、状況をまとめ毎月ごとに回覧にて共有を図っています。期ごとに集計して傾向の抽出、今後に向けて課題点、注意すべき点の共通理解を図っています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後も予防や再発防止に努めていきます。		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> 毎月チェックリストを活用して自己評価の実施や、定期的に人権や虐待についての研修を実施しています。毎日のミーティング時には一日を振り返って不適切な対応がなかったかの確認を行っています。子どもの人権、虐待対応の外部研修やeラーニングを受講し、虐待への意識付け、予防に努めています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 引き続きチェックリストを活用し自己評価を行っています。また虐待防止委員会による研修を実施し、人権や虐待防止に関する職員の意識向上を図っていきます。		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%
		<工夫していると思う点> “生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除いてお子さんの身体拘束を行わない”ことを契約書に明記し、契約時に説明を行っています。ケガに繋がりがかねない行動など療育上やむを得ない場合の行動制止など、具体的な対応方法については虐待防止委員会や職員会議で検討、決定して職員の対応を統一すると共に、事前に支援方法について保護者に確認し、ご意見や同意を得て児童発達支援計画にも記載をしています。		
		<改善が必要だと思われる点など> 今後もお子さんの状況をとらえ、保護者と対応についての確認を丁寧に行っていきます。		